

## ロータリーの歴史（日本）

### 日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは1920年（大正9年）10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。（※福島ロータリークラブは東京ロータリークラブをスポンサークラブとして1951年昭和26年1月1日創立、同年3月23日RI加盟承認されました。）

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ、初代事務総長チェスリー・ペリーと、日本のロータリー創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われ、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものとなりました。

日本では、国際ロータリーの会長として、東ヶ崎潔<sup>とうがさきよし</sup>氏（初）、向笠廣次<sup>むかさひろじ</sup>氏（2人目）、そして田中作次<sup>たなかさくじ</sup>氏（3人目）がおられます。現在、日本全体でのクラブ数は2,282、会員数は88,184人となっています。（2014年3月末現在）

### 日本ロータリーの歴史

- 1920年 日本のロータリークラブ第1号、東京RCが誕生
- 1922年 大阪に日本第2番目のRCが誕生
- 1924年 東京RC、関東大震災（1923年大正12年9月1日）の震災義援金の一部で東京孤児院にロータリーホームを作る
- 1940年 大阪RCをはじめ、日本のRCは時局に鑑みRIを脱退
- 1949年 東京RCに続き、京都、大阪と、日本の7クラブ復活
- 1961年 東京国際大会を開催（参加74カ国、23,366人）
- 1962年 日本のRC数・会員数が、米英に次いで3位となる
- 1968年 RI会長に東ヶ崎潔氏が就任（日本初）
- 1970年 大阪千里の万博会場で連日例会開催（家族を含め23,300人参加）
- 1982年 RI会長に向笠廣次氏が就任（日本で二人目）
- 1995年 阪神淡路大震災発生、救援ボランティアの数は延べ130万人に
- 2004年 大阪ドーム等で関西初の第95回ロータリー国際大会。112カ国45,595人が登録
- 2011年 東日本大震災に世界のロータリーから沢山の支援金が届く
- 2012年 RI会長に田中作次氏が就任（日本で3人目）
- 2013年 広島で平和フォーラムが開催される

（文責 丹治正博）